

市政報告 ～いのち育む～



公職選挙法の規定により、有権者の皆様への
時候のご挨拶は差し控えさせていただきます。
何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

【令和7年第4回定例会 本会議(一般質問)】

子どもを取り巻く実態、自死、いじめ防止対策①

質問 文部科学省による令和6年度『児童生徒に関する調査』では、全国のいじめ認知件数、暴力行為、不登校児童生徒数は過去最多数。

本市の不登校3,199人は政令指定都市で8番目、いじめの認知件数8,882件は同じく3番目、暴力行為1,913件は同じく5番目となっている。課題認識、今後の強化策は。

市長 いじめ防止条例制定、S-KET開設、ステーション設置などの施策を進め、いじめの解消率や不登校児童生徒の再登校率は全国水準を上回る状況になった。しかし今なお、いじめや登校に悩む子ども達があり、暴力行為は依然高い水準にある。

今後も施策の効果的な推進を図る必要がある。いじめや暴力行為の背景を知り、組織的対応が重要。不登校の一人ひとりに寄り添った対応、環境づくりに努める。

質問 今年6月、自殺対策基本法が改正され、子どもの自殺対策が「社会全体の責務」と明確に位置づけられた。本市の19歳以下の自死は政令指定都市の中で2番目に高い状況。

市長 改正自殺対策基本法に定められた協議会の運用については、ガイドラインが今年度中に国から示される予定でその内容を踏まえた設置を進める。デジタル化については、現在のオンライン相談窓口、インターネット上の居場所づくりなどを更に充実させる。



健康福祉局長 本市では、令和6年より若年者の孤独・孤立防止を重要な対策として位置付け、電話や対面相談に加え、オンライン上で人とつながる機会の提供も進めている。令和6年の19歳以下の自殺者数10名を含む39歳以下の若年者が自死に至った動機として多いのは孤独感など人間関係の悩み。取り組みの更なる充実を図っていく必要がある。

【仙台市の子どもを取り巻く状況】

	いじめ認知件数		暴力行為件数		不登校児童生徒数		自死	自損行為	指導困難 学級
		政令市順位		政令市順位		政令市順位	19歳以下	18歳以下	
令和5年度	11743件	2番目	2513件	2番目	3128件	10番目	8名	45名	91学級
令和6年度	8882件	8番目	1913件	3番目	3199件	5番目	10名	81名	73学級

いじめの重大化を防ぐための留意事項集(概要)

I 留意事項例(一部を抜粋)

1 いじめの重大化を防ぐための対応

●【1-1】児童生徒の言葉の聴き取りと深い理解に基づく対応

- 児童生徒からいじめや人間関係のトラブルについて訴えがあったとき等には、本人が安心できる環境で個別に話を聴くなど、まずはしっかりと当該児童生徒の話を傾聴すること
- 既に深刻な状況に陥っている可能性もあることを念頭に、児童生徒が置かれている状況を理解し、寄り添いながら対応策を検討すること

●【1-5】児童生徒が傍観者にならないための環境づくり

- いじめを見て見ぬふりすることで、いじめに暗黙の了解を与える傍観者が、いじめをエスカレートさせる場合があること
- 普段から集団全体にいじめを許さない気運醸成を図るなど、児童生徒が傍観者にならないように、具体的な行動を起こすことや生徒同士で支え合うことができる環境をつくること

●【1-8】地域の関係機関との連携

- 学校だけでは対応できないと判断するいじめ事案について、適切な時期に地域の専門機関(医療、福祉、行政、警察など)と連携し、支援を得ることを検討すること
- その前提として、日常的に関係機関との顔の見える関係を作っておくこと

2 いじめの重大化につながり得る要素・特徴

●【2-4】インターネット・SNSにおけるいじめ

- インターネットやSNSを利用する際のリテラシーや、困ったときには身近な大人に助けを求めることの重要性を伝えること
- 保護者や教職員がインターネットやSNS上のトラブルを認知したときは、積極的に問題の把握や支援を行うこと

II いじめの防止・重大化予防のための全ての児童生徒にとって安全で安心な学校・学級づくり

- いじめの防止・重大化予防のためには「全ての児童生徒にとって安全で安心な学校・学級づくり」を心がけることが必要であり、そのために意識すべき4つの視点は以下のとおり。

- ① 多様性に配慮した学校・学級づくり
- ② 対等で自由な人間関係を構築する居場所としての学校・学級づくり
- ③ 自分が誰かの役に立っていると思える自己有用感を育む
- ④ 「困った、助けてほしい」と言える環境づくり

- これらの視点は、校長・副校長・教頭等の管理職を中心に教職員が一体となって学校経営の中でしっかりと意識し、それに基づいた学年の取組や学級・ホームルーム経営が行われることが重要

III こどもたちと、こどもに関わるおとなの皆様へのメッセージ

- こどもたちへ
自分のことや友だちのことで困ったときは、迷わず周りの大人に相談してほしい。(※こども家庭庁・文部科学省HPの相談窓口も案内)
- 教職員・教育委員会等の皆様へ
こどもが見せる「小さなサイン」に気づき、丁寧に向き合うことが、いじめの重大化の予防にとって重要である。
- 首長部局の皆様へ
教育委員会と連携して、いじめの防止・重大化予防に主体的に関わっていただきたい。
- 保護者の皆様へ
こどもの様子が気になったときは、こどもの話を時間をかけて傾聴し、いじめの心配がある場合は、学校に伝えていただきたい。
- 地域の皆様へ
いじめの問題は「学校だけの問題」ではないため、地域に暮らす全ての人が関心を持ち、こどもを見守っていただきたい。



「いじめの重大化を防ぐための留意事項集(概要)」より

令和7年1月より、こども家庭庁及び文部科学省共同で「いじめの重大化要因等の分析・検討会議」を開催、取りまとめられた。

子どもを取り巻く実態、自死、いじめ防止対策②

質問 令和6年度「仙台市こころの健康といのちに関する意識調査」では、市内の相談機関について「知らなかった」と回答した割合が平均60.6%。こころの相談電話「ナイトライン」75.1%、いじめ等相談支援室 S-KETが70.1%など認知されていない状況。

健康福祉局長 ホームページ掲載、リーフレットなどによる広報、相談窓口の紹介場面が盛り込まれた動画や漫画制作など、周知のため工夫を行っている。相談体制の充実に向けては、若年者の悩みに対応する様々な機関の実務者による会議体を新たに設置し、事例検討などを通じて実践的な協力関係の構築を進めている。

実績

仙台市いじめ等相談支援室
S-KET(エスケット) オンライン相談開始

S-KET 0120-303-836
s-ket@city.sendai.jp

あなたの悩み相談するには？

- 電話相談** 24時間受付。匿名で相談可能。
- メール相談** 24時間受付。匿名で相談可能。
- 面談相談** 24時間受付。匿名で相談可能。

私たちはあなたの話を大切にします。

あなたの悩みは守ります。

いじめ等相談支援室 S-KET(エスケット) オンライン相談開始

不登校の学びの保障と学びの多様化学校の設置日程

質問 本市はフリースクール等との共同宣言を結んでいるが、具体的な連携内容は。

教育長 教育支援センターのホームページに各団体の年間計画を掲載、共同での職員研修会の開催や、教育支援センター児遊の杜と杜のひろばの施設見学など、連携した取組を進めている。各団体とは来年度以降に向けて意見交換も行っている。

質問 ステーションの設置はいつまでに完了するか。教育支援センターの受け入れ体制強化やオンライン授業の拡充は。学びの多様化学校の設置に向けた具体の検討状況と設置時期は。「来年の4月ですか」という子どもの声もあった。子どもの思いに向き合う回答を。

教育長 ステーション全校設置の時期については現在関係局と協議している。ステーションや別室でのオンライン学習も推進していく。学びの多様化学校については開校の時期を示せる段階にはないが、設置にむけた検討を進めている。

市長 学びの多様化小学校で学んでいるお子さんたちで6年生、間もなく卒業というお子さんもいらっしゃる。学びの多様化中学校の設置、急ぎ進めたい思いは強い。発表できる段階にはないということをご理解いただきたい。

急増する指導困難学級への教育局の支援対応本気度

質問 本市の指導困難学級数は、小学校で令和2年度31学級から令和5年度には76学級と、3年間で2倍以上に急増。翌6年度に64学級と減少したものの、依然として多い状況。ある学校では4年間にわたり状況改善が見られず、複数の児童が転校を余儀なくされ、学級数が1クラス減。保護者から相談を受けた。チーム学校が機能していないのではないかと。教育局の緊急的な介入や支援が必要であると認識していただくことはできないか。

教育長 迅速に支援、早期改善の必要があると考えており、速やかに学校に訪問・確認し、対応策などの助言を行っている。状態が長期化している場合には、職員を継続的に派遣するなどの支援を行っている。

ニューロダイバーシティ人材活躍に係る理解促進

質問 仙台市は本年11月20日、株式会社電通コーポレートワンと「人材の活躍に向けた連携協定」を締結。ニューロダイバーシティ推進と関係局の連携について所見を伺う。

傾向福祉局長 ひきこもりの方を対象としたオンライン居場所事業やカウンセリング事業、定期的な情報誌の送付のほか、今年度から市民協働により行っている支援付き短期アルバイト事業などを通じ、自分自身の体験を肯定的に捉えられるよう支援している。

教育長 困難を抱える児童生徒のサポートにあたっては、その原因が個人にではなく、社会のしくみや環境にあるという考え方を前提に支援している。

熊出没対策／調整池等刈り払い、ごみ集積所収集管理

質問 熊出没地域にある雨水調整池やため池周辺の刈り払いについて、管理箇所の把握状況と具体的な実施予定箇所は。収集前の家庭ごみ等が誘引物となるとの懸念もある。

環境局長 補正予算等も含む被害防止対策パッケージをとりまとめた。

家庭ごみ収集時間の見直しについては、他業務担当者の家庭ごみ収集への配置換えなどの対応策について、事業者と協議中。

経済局長 熊が出没している本市西部地区における経済局所管のうち刈り払いが必要なため池は35箇所。これら全てについて、来春クマが活動を活発化させ、草が伸び生えてくるような時期の前までに除草することとしている。

実績

① 仙台市の小学校給食、2026年度より「完全無償化」へ！



公明党等3党実務者協議において、令和8年4月からの学校給食費の抜本的な負担軽減策が合意。仙台市も令和8年度から小学校給食の「完全無償化」。小田島は令和5年の公明党市議団代表質疑で無償化提案。国と地方の公明党が緊密に連携し、現場の声を政策に反映しました。
(写真：仙台市HPより)



② 北山実沢線ロードヒーティング改修工事開始

③ 水道使用量検針時の高齢者見守り事業開始 (12月18日河北新報夕刊掲載)



④ 熊対策として、樹木刈り払いや、家庭ゴミ収集時間の時間調整、パトロールグッズを提供

⑤ 北中山小学校で、シルバー人材センター委託による朝の見守り活動開始 (写真は参考資料)



連絡先 仙台市泉区西中山1丁目10-13

小田島久美子／公明党市議団 TEL.022-376-1617

E-mail odashima@sendai-komei.jp URL <http://www.odashima-kumiko.com/>

